

園芸市場情報

平成29年4月号

www.pref.chiba.lg.jp/ryuhan/engei/

発行：千葉県農林水産部流通販売課
首都圏マーケティングセンター
住所：〒143-0001 東京都大田区東海3-2-1
大田市場事務棟4F
電話：03-5492-5416・5407
FAX：03-5492-5407

4月の相場見通しは？！

野菜類は、入荷量は前年並、相場は前年を下回るか！

果実類は、入荷量は前年を上回り、相場は前年を下回るか！

花きは、入荷量は前年を上回り、相場は前年を下回るか！

アリオ札幌 千葉県フェア開催

～チーバくん北海道で千葉県産青果物・水産物をPR～

3月18～20日の3連休・アリオ札幌にて、東京千住青果(株)グループ・JA 全農ちば・千葉県の全面協力のもと(株)イトヨーカ堂の千葉県フェアが盛大に開催されました。

北海道は雪が残りまだ冬の様相ですが、春の訪れを待ち焦がれているお客さんに向け、春キャベツ・春だいこん・葉たまねぎ・トマト・きゅうり・ほうれんそうなどの青果物、ひもの・ゴマ漬け・あおやぎの佃煮・たこなどの水産物をブロックごとに陳列し、会場全体で千葉県の春を感じていただきました。

遠く離れた北海道の地でもチーバくんは家族連れ・お子さんに大人気で、千葉県の農水産物を元気よくPRしてくれました。並べた商品は高品質・適正価格で、どんどん売れ、お客さんは楽しい買い物ができるようです。



CONTENTS (目次)

I 青果情報

- 01 3月上中旬の経過
 02 東京都中央卸売市場の主要品目の入荷量と価格
 04 4月の見通し
 05 今月の青果物「キャベツ類」

II 花き（切花）情報

- 06 3月中旬までの経過（販売経過、品目別経過）
 4月の見通し（カーネーション、トルコギキョウ）
 入荷量と単価の経過 <確定値>

III 千葉県内市場における園芸品の市況概況

- 07 2月の青果物と花き

IV 平成28年の青果物・花き

- 08 東京都中央卸売市場の平成28年を振り返って

V やっちゃんば閑話

- 09 「人手不足の時代」

VI 首都圏掲示板

- 10 「読者の皆様へのお知らせ」

用語解説

園芸市場 情報に 使用する 主な用語 解説	急騰	: 前日に比べ大幅に価格が上がる。(3割程度以上)	変動の 幅を示す 用語	平年並	: ± 2%以内
	強い	: 前日に比べ10%程度以上価格が上がる。		やや	: ± 3~5%
	強保合	: 前日に比べ5%程度以上価格が上がる。		かなり	: ± 6~15%
	保合	: 前日とほとんど同じ価格。		大幅	: ±16%以上
	弱保合	: 前日に比べ5%程度以上価格が下がる。			
	弱い	: 前日に比べ10%程度以上価格が下がる。			
	急落	: 前日に比べ大幅に価格が下がる。(3割程度以上)			
	まちまち	: 産地、品種により、価格の騰落が異なること。			

I 青果情報

1 3月上中旬の経過

気象	<p>全国的に気温は低く、雨が少ない天候となった。</p> <p>気温は、全国的に平年を下回り、特に関東以西で平年を下回ったところが多かった。</p> <p>降水量は、全国的に平年よりも少なく、特に関東以西では平年を下回ったところが多かった。</p> <p>日照時間は、全国的に平年より多く、特に関東以西では平年を上回ったところが多かった。</p>
----	--

野菜類

入荷量	<p>関東産、西南暖地産が中心となった。</p> <p>入荷量は、低温・干ばつの影響を受けた「キャベツ類」「ねぎ」等の露地重量野菜を中心に減少した一方で、「なす」「トマト」等の施設野菜や「ほうれんそう」等の葉菜類は生育順調で前年を上回った。</p> <p>野菜全体では、3月上中旬入荷量は77,491t（前年比99.4%）と前年並だった。</p>
相場	<p>入荷も比較的安定したことから、長らく続いた高値基調から一転し、野菜全体は下げ基調となった。多くの品目で前年を下回った一方で、前年多かった「にんじん」や、天候不良で減り込んだ「キャベツ類」「ねぎ」等の露地重量野菜が前年を上回った。特に「キャベツ類」は前年比130%以上の高値となるなど特徴的な動きを見せている。</p> <p>野菜全体では、3月上中旬平均価格は258円/kg（前年比94.0%）と前年並だった。</p>

果実類

入荷量	<p>「かんきつ類・みかん類」「りんご類」「いちご類」を中心に上回った。</p> <p>「かんきつ類」は小玉傾向や品質低下により入荷が伸びず、前年をかなり下回った。「みかん類」は前倒し出荷のため品薄となった前年を大幅に上回った。</p> <p>果実全体では3月上中旬入荷量は20,235t（前年比100.7%）と少なかった前年並だった。</p>
相場	<p>果実全体の入荷は少なかったものの、極端に不足した品目はなかったことから強い品薄感はなく、価格高となった前年の価格を多くの品目で下回った。</p> <p>果実全体の3月上中旬平均価格は454円/kg（前年比91.6%）と前年をかなり下回り、長く続いた高値基調から脱却したものの、依然として平年をかなり上回っている（平年比107.7%）。</p>

東京都中央卸売市場の主要品目の入荷量と価格

平成29年2月下旬～平成29年3月上旬

(単位:t、%、円/kg)

品目	産地	2月下旬				3月上旬				3月中旬				3月上中旬計			
		開市日数 本年6日・前年6日				開市日数 本年8日・前年7日				開市日数 本年6日・前年7日				開市日数 本年14日・前年14日			
		入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
野菜総量	市場計	33,930	97.8	256	100.0	42,528	106.5	253	92.0	34,963	92.0	263	96.3	77,491	99.4	258	94.0
だいこん	市場計	3,087	87.5	93	112.2	4,111	106.7	94	117.6	3,287	96.0	87	100.1	7,398	101.7	91	109.3
	千葉	919	76.2	98	107.1	1,268	113.7	100	109.4	1,015	82.1	95	96.5	2,283	97.1	98	102.8
にんじん	市場計	1,776	88.7	172	190.1	2,209	92.7	183	174.9	2,038	84.8	181	148.4	4,247	88.8	183	160.6
	千葉	1,141	71.2	178	191.9	1,248	70.8	190	182.2	732	56.1	172	156.3	1,980	64.6	183	171.8
はくさい	市場計	2,914	104.8	103	122.8	3,079	125.3	99	123.6	1,993	85.6	127	100.3	5,072	106.0	110	107.2
キャベツ類	市場計	4,180	89.5	130	196.8	5,466	102.9	119	136.8	4,930	89.8	124	142.1	10,396	96.2	121	139.3
	千葉	1,292	120.2	127	208.8	1,617	149.9	116	137.0	1,100	125.6	122	134.3	2,717	139.0	119	135.4
ほうれんそう	市場計	491	124.0	373	77.5	575	139.1	336	59.5	370	94.9	453	90.4	945	117.7	382	71.5
	千葉	91	124.6	296	75.1	99	136.4	273	61.1	56	101.8	351	82.5	155	121.4	301	68.8
ねぎ	市場計	1,134	86.1	340	121.0	1,344	95.0	345	115.7	1,113	85.3	344	104.9	2,457	90.3	344	110.3
	千葉	470	82.4	339	121.5	586	89.9	346	117.9	472	79.5	344	108.1	1,058	84.9	345	113.1
レタス類	市場計	2,113	115.0	212	71.9	2,812	130.5	171	49.7	2,027	89.9	191	78.5	4,839	109.8	179	61.3
	千葉	151	134.0	194	78.5	161	122.4	164	54.2	99	102.1	176	71.2	261	113.8	169	60.4
きゅうり	市場計	1,521	100.3	286	70.7	2,025	93.7	291	83.4	1,717	104.3	292	82.9	3,743	98.3	291	83.2
	千葉	289	114.1	275	70.6	328	81.1	275	86.0	293	127.3	270	80.9	621	97.8	273	84.0
なす	市場計	477	93.6	483	102.0	696	109.4	457	98.0	677	114.3	429	83.8	1,373	111.8	443	90.8
	千葉	1	30.8	595	106.7	4	54.0	591	110.9	5	76.4	581	102.2	9	64.1	586	106.7
トマト	市場計	1,677	101.1	370	85.5	2,153	116.0	368	76.0	1,754	109.5	378	70.6	3,908	113.0	373	73.3
	千葉	88	120.8	341	83.1	103	108.4	340	75.7	98	119.2	347	69.4	201	113.4	343	72.7
ピーマン	市場計	496	120.6	542	77.1	641	111.8	490	73.3	585	105.2	484	74.8	1,226	108.5	487	74.0
	千葉	0	27.4	1,119	125.5	1	59.5	927	109.5	2	139.8	612	74.4	2	98.1	711	85.2
さといも	市場計	162	109.1	277	86.0	202	115.0	261	80.3	172	90.3	268	83.8	374	102.1	264	82.0
	千葉	39	64.5	246	78.5	61	95.1	209	64.3	44	57.1	244	78.6	105	74.5	223	70.5
ばれいしょ類	市場計	1,867	98.1	226	120.2	2,427	104.3	226	113.0	2,074	95.2	231	106.7	4,501	99.9	228	109.8
たまねぎ	市場計	3,178	95.4	110	110.7	3,848	94.7	122	126.8	3,340	93.0	129	130.5	7,189	93.9	125	128.5
生しいたけ	市場計	172	104.9	1,063	99.7	211	106.2	1,024	98.3	176	94.8	993	98.4	387	100.7	1,010	98.5
かぼちゃ	市場計	691	84.3	177	106.0	899	95.4	190	116.4	630	58.2	212	151.4	1,528	75.5	199	132.0
さやえんどう	市場計	54	189.6	1,055	62.0	77	174.5	1,064	59.9	66	133.2	1,044	73.3	142	152.6	1,055	66.4
かんしょ	市場計	809	91.1	211	88.7	955	101.7	215	90.7	758	85.5	218	89.8	1,714	93.8	216	90.2
	千葉	409	89.3	193	83.9	486	100.2	203	86.3	404	82.5	205	87.7	890	91.3	204	86.9
かぶ	市場計	371	95.6	142	98.2	452	109.2	140	90.2	324	79.3	152	91.9	776	94.4	145	90.5
	千葉	339	94.8	142	99.6	414	108.8	141	90.6	295	77.5	153	92.8	709	93.2	146	91.1
ごぼう	市場計	194	108.3	405	103.4	232	102.2	440	113.2	204	91.2	421	106.7	436	96.7	431	110.0
こまつ菜	市場計	324	101.1	313	100.3	410	107.6	239	72.9	309	79.1	285	92.3	719	93.2	258	81.3
	千葉	16	105.6	314	101.4	19	100.6	244	74.1	15	86.5	264	87.7	35	93.9	253	80.1
こねぎ	市場計	108	105.5	843	80.8	145	114.4	761	76.2	129	94.2	711	79.7	274	103.9	738	78.2
わけぎ	市場計	4.4	71.2	960	108.2	5.2	71.8	905	101.9	4.4	60.8	884	116.0	9.6	66.3	895	108.4
糸みつば	市場計	43	92.2	432	85.1	66	108.3	451	87.6	44	82.8	403	99.6	110	96.5	432	93.1
しゅんぎく	市場計	95	110.8	446	97.8	97	106.2	390	85.6	65	90.5	473	101.1	162	99.3	423	91.8
	千葉	39	120.3	431	96.7	33	105.6	389	85.7	17	79.1	485	101.9	51	94.9	422	91.1
にら	市場計	231	90.7	685	96.7	292	95.4	540	95.7	259	85.5	546	114.3	551	90.5	543	104.2
セルリー	市場計	234	85.6	219	85.4	301	93.9	263	94.6	273	86.7	251	81.2	574	90.4	257	87.6

品目	産地	2月下旬				3月上旬				3月中旬				3月上中旬計			
		開市日数		本年6日・前年6日		開市日数		本年8日・前年7日		開市日数		本年6日・前年7日		開市日数		本年14日・前年14日	
		入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
カリフラワー	市場計	132	174.5	199	72.6	110	108.4	216	76.8	73	82.9	283	116.2	183	96.6	243	92.0
ブロッコリー	市場計	1,056	191.6	260	58.9	1,292	198.8	246	50.7	902	151.9	304	61.9	2,194	176.4	270	55.3
サラダ菜	市場計	25	97.5	404	72.4	33	103.0	363	68.6	31	88.3	326	70.5	64	95.3	345	69.8
	千葉	10	83.1	364	72.4	12	94.8	338	69.0	10	77.8	325	72.2	21	86.3	332	70.7
パセリ	市場計	16	90.8	896	98.8	21	94.5	815	96.0	19	77.3	787	101.5	40	85.6	802	98.9
	千葉	7	79.3	794	94.3	10	84.4	707	88.4	8	73.8	717	98.0	18	79.2	712	92.9
チンゲンサイ	市場計	108	92.7	308	103.5	145	101.3	255	86.4	116	85.4	265	90.0	261	93.6	259	88.0
エンダイブ	市場計	4	81.3	658	112.1	6	114.8	542	71.7	4	72.4	611	84.2	10	92.8	570	77.0
ミニトマト	市場計	403	114.3	695	74.6	521	122.0	690	64.8	466	114.6	684	68.5	987	118.4	687	66.5
	千葉	37	145.2	765	78.1	42	119.7	759	68.5	38	131.4	756	69.4	80	125.0	758	68.9
とうもろこし	市場計	2	185.7	451	114.7	4	454.4	459	124.2	4	245.5	459	99.1	8	326.9	459	107.5
いんげん	市場計	78	100.5	813	85.7	92	104.1	826	74.6	73	71.1	894	95.7	165	86.4	856	84.4
そらめめ	市場計	53	798.6	799	49.1	85	1144.9	704	44.1	86	1309.2	672	32.1	171	1222.5	688	37.5
えだまめ	市場計	1	77.1	2,274	102.2	1	119.1	2,227	97.4	8	307.9	919	74.8	9	250.4	1,108	71.5
やまといも	市場計	38	95.6	641	95.4	44	101.6	643	93.7	31	70.9	664	96.7	74	86.2	652	95.0
	千葉	25	97.6	637	94.8	28	106.8	633	92.3	19	72.2	647	95.5	47	89.2	638	93.7
根しようが	市場計	88	100.1	553	93.8	98	100.2	639	101.3	91	84.5	653	101.5	189	91.9	646	101.3
マッシュルーム	市場計	35	95.5	868	99.3	45	100.9	867	97.7	39	86.9	826	84.9	84	93.9	848	91.2
外国産	市場計	1,217	93.1	263	95.6	1,570	98.9	265	94.8	1,278	72.1	282	114.2	2,848	84.8	273	103.9
果実総量	市場計	9,559	106.0	446	96.0	11,184	106.9	454	91.2	9,051	94.0	454	92.1	20,235	100.7	454	91.6
みかん類	市場計	1,733	167.3	319	94.0	1,107	148.0	344	86.7	680	221.0	393	84.8	1,786	169.2	363	87.1
かんきつ類	市場計	3,268	98.9	301	94.6	4,030	96.9	319	95.8	3,407	83.1	317	94.5	7,437	90.0	318	95.2
りんご類	市場計	1,828	83.9	273	87.6	2,612	117.1	268	83.8	2,142	99.6	270	81.5	4,754	108.5	269	82.7
(ふじ)	市場計	1,519	83.7	275	88.1	2,196	117.4	266	82.6	1,785	99.4	268	81.0	3,981	108.6	267	81.8
いちご類	市場計	1,452	123.9	1,193	88.5	1,691	104.6	1,209	89.8	1,331	90.0	1,207	95.9	3,022	97.6	1,208	92.6
(とちおとめ)	市場計	686	108.7	1,156	94.6	832	97.4	1,139	93.7	602	89.1	1,095	94.7	1,435	93.7	1,120	94.2
(あまおう)	市場計	271	176.2	1,362	80.1	273	127.8	1,424	82.7	233	87.8	1,444	95.8	506	105.6	1,433	89.4
メロン類	市場計	102	84.4	876	95.9	154	107.6	870	103.7	145	108.5	893	82.0	299	108.0	881	91.8
	千葉	5	115.9	1,086	85.9	4	72.4	1,158	99.4	5	99.3	1,320	91.6	10	84.9	1,246	96.4
(アールスメロン)	市場計	56	99.5	1,168	85.6	76	110.5	1,220	91.5	70	98.4	1,376	85.7	145	104.4	1,295	88.0
	千葉	5	115.9	1,086	85.9	4	72.4	1,158	99.4	5	99.3	1,320	91.6	10	84.9	1,246	96.4
すいか類	市場計	38	88.4	365	104.7	98	128.2	412	101.8	111	99.3	417	96.5	210	111.0	415	98.5
(大玉すいか)	市場計	33	90.7	326	114.7	72	124.5	351	114.0	75	102.6	341	105.3	147	112.2	346	109.2
(こだますいか)	市場計	6	76.6	597	88.8	26	139.6	577	82.5	36	93.0	577	90.3	62	108.4	577	87.5
びわ	市場計	0	20.2	6,313	150.8	1	39.9	4,269	124.4	2	29.9	3,716	130.8	4	32.8	3,910	129.8
ぶどう類	市場計	32	222.0	428	74.9	44	126.5	419	81.5	46	123.0	399	81.1	91	124.7	409	81.3
外国産	市場計	1,041	93.7	222	99.1	1,394	91.1	220	96.7	1,212	86.4	219	94.5	2,606	88.9	220	95.6

注) 斜体で表示した品目は、季節的に入れ替えます。
0は単位に満たないもの。 -は数値の発表がないもの。

前年比10%以上
前年比10%以下

資料：東京青果物情報センター速報

2 4月の見通し

野菜

春物野菜の最盛期となり、関東が中心産地となる。

「キャベツ類」「ねぎ」等は、乾燥と低温の影響が残り、少なかった前年並となる一方で、生育の順調な「トマト」「きゅうり」等の果菜類、「ほうれんそう」等を中心に多かった前年並となり、野菜全体の入荷量は、前年並の見込み。

価格は、長らく続いた高値基調からくる高値疲れも手伝い、ほとんどの品目で下げに転じ、野菜全体では前年を下回る見込み。

果実

「かんきつ類」「りんご類」「いちご類」を中心に回り、「すいか類」「メロン類」の他、「びわ」「マンゴー」「おうとう」など春の果実の入荷も増えてくる。

「かんきつ類」「りんご類」「いちご類」は少なかった前年の入荷量を上回る見込み。「すいか類」「メロン類」は生育・肥大が良好で、順調な入荷が見込まれる。全体の入荷量は、前年を上回る見込み。

価格は、順調な入荷が見込まれることから高かった前年は下回るが、依然として平年を上回る見込み。

品目	入荷量		単価		備考 (県内産地の生育状況等)
	前年比	平年比	前年比	平年比	
だいこん	↗	⇒	↘↘	↘	主産地は千葉県。生育はおおむね順調。入荷量は、少なかった前年を上回り、平年並の見込み。
キャベツ類	⇒	↘	⇒	⇒	主産地は神奈川・愛知県。神奈川県は生育順調だが、愛知県は干ばつで小玉傾向。入荷量は少なかった前年並の見込み。
ほうれんそう	⇒	↗↗	↘↘	↘↘	主産地は茨城・群馬県。両県とも生育はおおむね順調。入荷量は多かった前年並の見込み。
ねぎ	⇒	↘	↘↘	↗↗	主産地は千葉・埼玉県。両県とも低温・干ばつの影響はあるものの、今後回復の予想。入荷量は、少なかった前年並の見込み。
きゅうり	↘	↗	⇒	↘	主産地は埼玉・群馬県。両県とも生育は順調。入荷量は、多かった前年を下回るものの、平年を上回る見込み。
トマト	↗	↗↗	↘↘	↘↘	主産地は熊本・栃木県。両県とも生育は順調で玉伸びもよい。入荷量は、多かった前年をさらに上回る見込み。
びわ	↘↘	⇒	⇒	⇒	主産地は長崎県。生育はやや遅くれているが、作柄は平年並。入荷量は前進出荷で多かった前年を下回るが、平年並の見込み。
			増加	減少	

凡例			
⇒	平年並: ±2%	↗↗, ↘↘	かなり高, かなり低: ±6~15%
↗, ↘	やや高, やや低: ±3~5%	↗↗, ↘↘	大幅高, 大幅低: ±16%以上

3 今月の青果物

キャベツ類

主要産地のキャベツ類の入荷量(東京都中央卸売市場)

産地	28年4月入荷量	28年4月シェア率
神奈川	8,032 t	45.9 %
愛知	4,979 t	28.5 %
千葉	3,507 t	20.1 %
茨城	564 t	3.2 %

今後の競合産地の動向は?

東京中央卸売市場に3~6月に入荷するキャベツ類の主産地は、愛知県と神奈川県、千葉県、茨城県の関東近県です。その後、北関東・東北へと主産地が変わっていきます。

愛知県は3月までが中心で、神奈川県は4~5月がピーク、千葉県・茨城県は5~6月がピークとなっています。

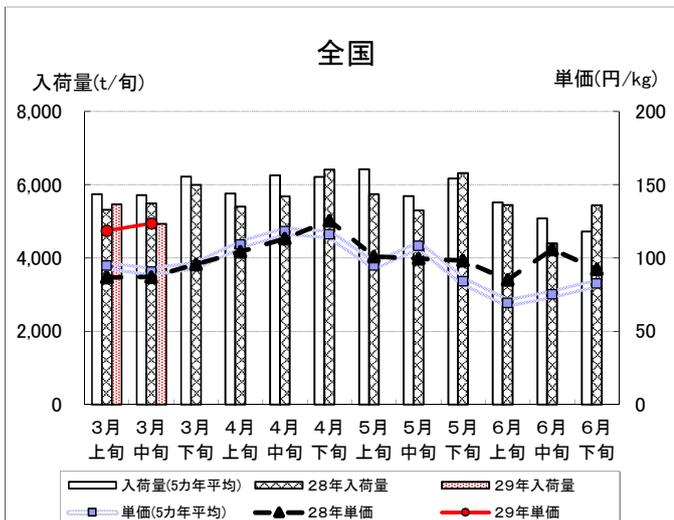
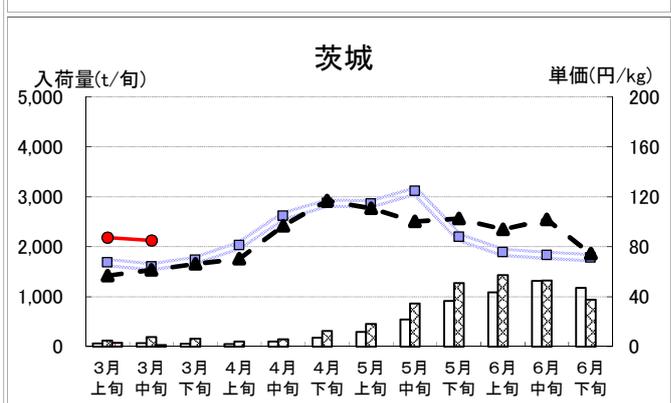
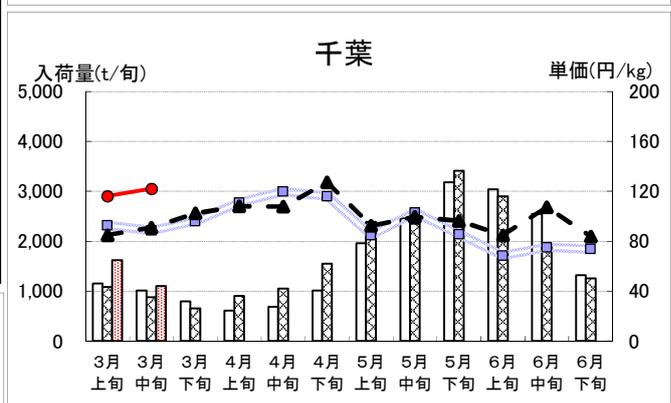
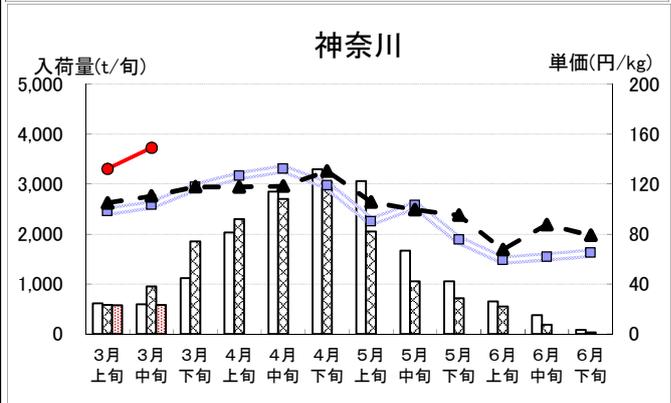
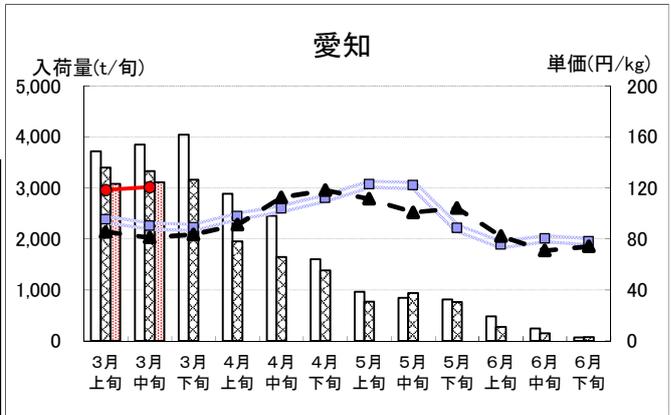
千葉県は4月下旬より春作型の出荷が本格化し、5~6月には都中央の市場シェアが40%を超えるキャベツの主要な産地です。

前年は2月からの気温高の影響から各産地、前進出荷となっていたものの、全体としては入荷が概ね順調で、価格も平年並と落ち着いた相場となっていました。

本年は愛知県産の1~2月出荷分が前倒しとなり、3月が端境となっており、3月上中旬の入荷量は平年を下回り、少なかった前年並となっています。

各産地、生育は概ね順調なもの、少雨の影響から小玉傾向となっています。そのため、4月の入荷量は前年及び平年よりも少なくなる見込みです。

4月入荷予測	17,140t(前年比98.0%、平年比94.0%)		
4月価格予測	115円(前年比99.9%、平年比100.2%)		
4月市況予測	(上旬) 保合 ⇒	(中旬) 弱保合 ⇐	(下旬) 保合 ⇒



Ⅱ 花き(切花)情報

3月(中旬)までの経過

3月中旬の春彼岸需要期は入荷量が平年をやや下回り、相場は平年並だった。

販売経過 (東京都中央卸売市場大田市場)

項目	経過
入荷量	3月上旬は輸入、国産ともに入荷量が平年を大幅に上回った。中旬は平年をやや下回った。
相場	2月から弱い相場が続いていたが、春彼岸需要期である3月中旬は平年並だった。
動向	菊類は、主要産地が前進傾向で3月上旬の入荷量が平年を大幅に上回った。彼岸需要である3月中旬の入荷量は平年をやや下回り、相場は平年並だった。ストックは3月上旬まで相場が平年を大幅に下回っていたものの、中旬は平年並に回復した。中旬の入荷量は平年をかなり下回った。

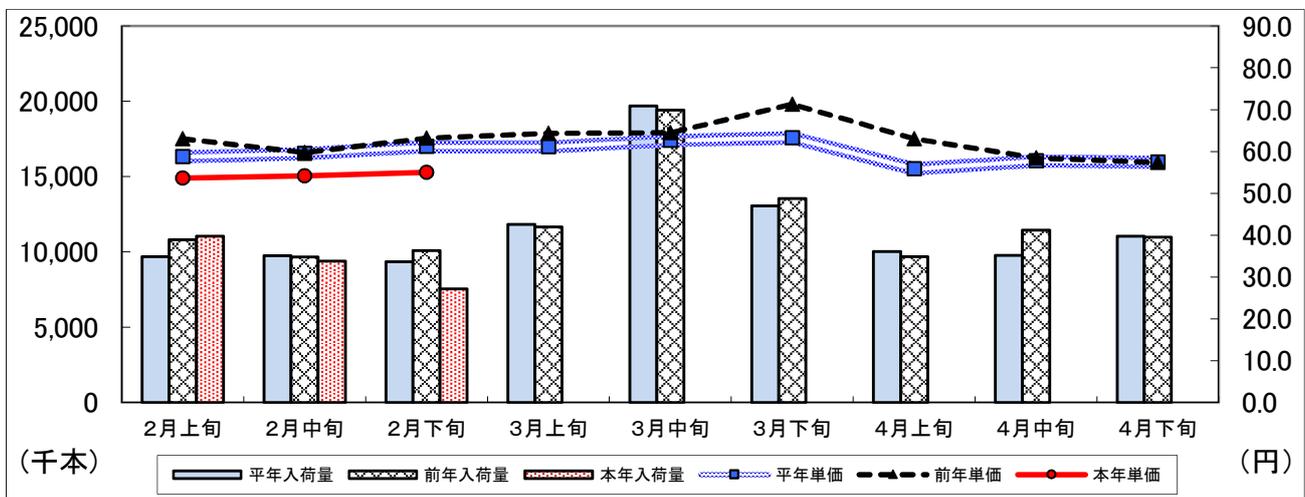
品目別経過

品目	経過
輪菊	(株)大田花き 中国産の3月彼岸向けが生育前進となった。国産の黄菊は沖縄県産が少なめの入荷が続き、彼岸需要は強めの相場となった。
ストック	東京フラワーポート(株) 2月の価格低迷から一変し安定した引き合いがあり価格も上昇した。入荷量はやや少ない。

4月の見通し

品目	見通し
カーネーション	(株)大田花き ST系、SP系ともにだらだらとした入荷となる見込み。輸入は平年並～微減。2月の単価安を受け、各商社慎重な仕入が見込まれる。
トルコギキョウ	(株)東日本板橋花き 沖縄県産が少なくなった分、北関東等から需要を埋めるだけの数量の入荷が見込まれる。

2月の入荷量と単価の経過<<確定値>>〔株)大田花き〕



花き流通情報連絡協議会資料より作成
平年値は過去3カ年の平均

Ⅲ 千葉県内市場における園芸品の市況概況

青果物

単位：t、円/kg

品目	H29.2月				累計 (H28.4~H29.2月)	
	数量	単価	前年比 (%)		数量	単価
			数量	単価		
野菜	20,677	200	92	106	247,179	208
だいこん	2,501	88	95	107	30,723	100
にんじん	1,310	146	85	178	14,967	167
はくさい	1,877	97	92	153	19,407	92
キャベツ	3,587	114	82	178	44,199	101
ねぎ	897	287	79	125	9,816	335
トマト	612	425	97	81	11,617	359
きゅうり	734	292	107	67	9,727	311
ばれいしょ	1,143	231	88	132	13,192	189
たまねぎ	2,000	94	100	120	20,902	101
レタス	888	211	112	69	11,994	192
果実	4,981	382	101	94	60,202	337
みかん	1,497	261	137	86	12,977	256
かき類	30	310	163	72	3,736	271
グレープフルーツ	57	244	65	107	1,230	211
なし類	2	194	112	58	5,565	280
ぶどう類	15	366	177	61	1,900	755
いちご類	610	1,194	123	86	2,524	1,179
すいか類	3	424	93	126	6,404	193
メロン類	47	450	76	115	3,117	389
バナナ	376	163	88	94	5,210	163
りんご	710	268	81	100	6,226	312
その他	268	206	104	106	2,881	186
青果物合計	25,926	235	94	103	310,262	233

花き

単位：千本（千鉢）、円/本（鉢）

品目	H29.2月				累計 (H28.4~H29.2月)	
	数量	単価	前年比 (%)		数量	単価
			数量	単価		
切り花	3,298	54	130	88	39,013	61
きく	1,026	68	128	98	14,785	66
バラ	145	67	157	83	1,627	66
カーネーション	354	40	145	81	5,110	45
枝物	107	115	99	111	1,694	93
鉢物	81	129	114	87	1,259	130
その他	2	57	100	43	58	92
花き合計	3,488	58	128	89	42,024	64

※県内公設卸売市場実績。品目は主なもの。数値の「0」は入荷はあるが単位に満たないことを示す。

※「-」は、数値の発表がないことを示す。

V や っ ら ゃ ば 閑 話

「人手不足の時代」

モクレン、コブシの花が咲き、桜の蕾が見え始め春の足音が聞こえてきた…と、しみじみ感じていた矢先、千葉県而降雪…三寒四温を繰り返しながらゆっくりと春がやってくるのを待ち焦がれている今日この頃。4月は新社会人の方々が、社会を動かす一員として新たな一歩を踏み出す始まりの月、若い世代の活躍に期待したいものである。若い世代と言えば、日本の総人口（総務省統計局、平成28年10月1日現在）を見ると、20代が約1250万人、30代が約1540万人、40代が約1900万人、50代が約1550万人となっており、20代の人口の少なさが目立つ。昨今どの業界でも人員不足が叫ばれているが、人口減少化の中で事業規模を維持するとなると、労働環境や待遇を良くし人を集めたり、機械化などによる効率化したり、変化をしていく必要がある。実際にここ数年で人手不足がぐっと進み、物流業界では指定時間の配達の見直し、スーパーでは営業時間の短縮や休業日を増やす動きが散見される。プロモーション業務の関係でスーパー回りをしていると、従業員の方々は非常に忙しそうに動き回っていて、あまり余裕の無いように感じる。

さて、今月号の表紙でも紹介しているとおり、アリオ札幌にて千葉県フェアが開催され、春を待つ北海道民の皆様には千葉県の春野菜をお届けし、本県産農水産物のPRを行った。私も北海道に行きフェアの支援を行った。広い面積のイベントスペースに青果、水産物が並べられ、お客様もたくさんの方々に来ていただいた。フェアをやっている中で気になったのは、葉たまねぎを見て「これ何？」と言って立ち止まるが、なかなか手に取らないお客様が多かったことだ。そのような人に味や可食部分、「この時期だけの季節商材」と説明したり、用意したレシピを見せたりすると「へー、買ってみよう」と言って、割と買い物カゴに入れてもらえることができた。中には6袋くらいまとめ買いする人もいて、話を聞くと珍しいので近所の人に配るのだそうだ。現代は情報社会ではあるものの、買い物中珍しい野菜を見てもその場で情報を調べる人はほとんどいない。しかし興味を持って立ち止まっても何かわからないと買ってもらう機会を逃してしまう。特に知名度の低いモノの販売の難しさを感じると同時に、人と人との対話、コミュニケーションが販売につながるコトと感じ、その重要性を改めて認識した。フェア会場には4名もの販売宣伝員が配置されていたので、各々にお客さんとコミュニケーションを取ってもらうため、特徴、食べ方、ウンチクなどを改めて伝え、宣伝してもらったところお客さんとよく対話できていて販売に繋がっていた。結果的には、この店舗で別の時期に他県産で行ったフェアをしのぐ売上げとなった。

人手不足の時代、店舗の担当者は忙しく売り場でゆっくりすることができない。しかし今回のフェアで、コストをかけても売り場で人から人へ気持ちを込めながら情報を伝えることで、その場での売上げやその後の愛着に繋がり、販売促進になるという重要性を再認識した。

(権太探検隊)

VI 首都圏掲示板



読者の皆様へのお知らせ

暦の上ではもう春ですが、去年の今頃満開だった大田市場のソメイヨシノは、やっと咲き始めたところです。

さて、4月1日の定期人事異動により、首都圏マーケティングセンターも新体制でのスタートとなりました。

今年度も引き続き、本県産青果物・花きの有利販売に向け、流通販売情報の収集・発信、首都圏におけるセールスプロモーションの展開、量販店等大口需要に対応したオール千葉での販売体制づくりの推進等に取り組んでまいりますので、よろしくお願いいたします。

記

平成29年度

農林水産部流通販売課首都圏マーケティングセンター職員

職	氏名	連絡先
室長	宇都宮 康（新任）	〒143-0001 東京都中央区東海3-2-1 大田市場事務棟4階 電話：03-5492-5416 FAX：03-5492-5407
副主査	大屋敷 亮輔	
副主査	河合 孝紀	
副主査	間宮 悠介	

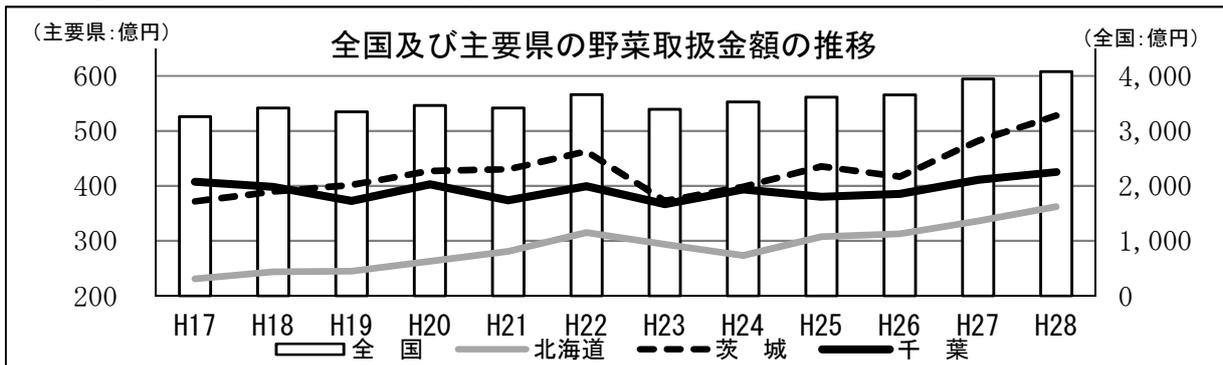
IV 平成28年の青果物・花き

東京都中央卸売市場の平成28年を振り返って

青果物：東京青果物情報センター速報 花き：東京都中央卸売市場統計

8・9月の台風・日照不足は全国の野菜産地に影響し、10～12月の長期にわたり高価格が続く野菜の取扱高は4,000億円を超えた。果実は、産地の縮小と温暖化・異常気象によりここ数年平年値より1割高の傾向が続いている。

○ 東京都中央卸売市場における野菜の入荷量・価格の推移



○ 東京都中央卸売市場における平成28年度 野菜・果実・花きの動向

